

ハロゲン化合物測定自動前処理装置&検出器

【株式会社三菱化学アナリテック & サーマフィッシャーサイエンティフィック株式会社】

【設備の特徴】

- ・プラスチックなどの有機物並びに灰などの無機物、溶液に含まれる塩素、臭素、硫黄の含有量を測定する装置です。
- ・100ppm(0.01wt%)以上の含有量を測定できます。

【設備の仕様概要、技術内容】

■特長的な機能

- ・試料を自動で燃焼し、ガスにして水溶液に吸収させる前処理装置と吸収させた溶液中の塩素、臭素、硫黄を測定するイオンクロマトグラフを組み合わせたシステムである。
- ・前処理装置の燃焼条件を設定できるため、固体、液体状の有機物試料並びに固体無機物試料にも対応が可能である。

■仕様概要

自動前処理装置		イオンクロマトグラフ検出器	
型 式	AQF-100型	型 式	ICS-1600
燃焼管	電気炉は2分割され、最高1100℃	検出器	電気伝導度
試料量	固体試料:1~150mg 液体試料:5~100μl ※サンプルによって異なる。	サプレッサー	電気透析形
		測定元素	フッ素、塩素、臭素、硫黄

■効果が期待される利用分野

【活用例】

- ・プラスチック中の塩素、臭素、硫黄分析
- ・燃焼灰中のフッ素、塩素、臭素、硫黄含有量測定
- ・油中の塩素、臭素、硫黄含有量測定

【適用製品の例】

- ・廃プラスチックのダイオキシン対策
- ・固形燃料のダイオキシン対策
- ・石油、石炭の脱硫対策

【装置外観】

■装置は自動前処理装置と検出器の組み合わせ



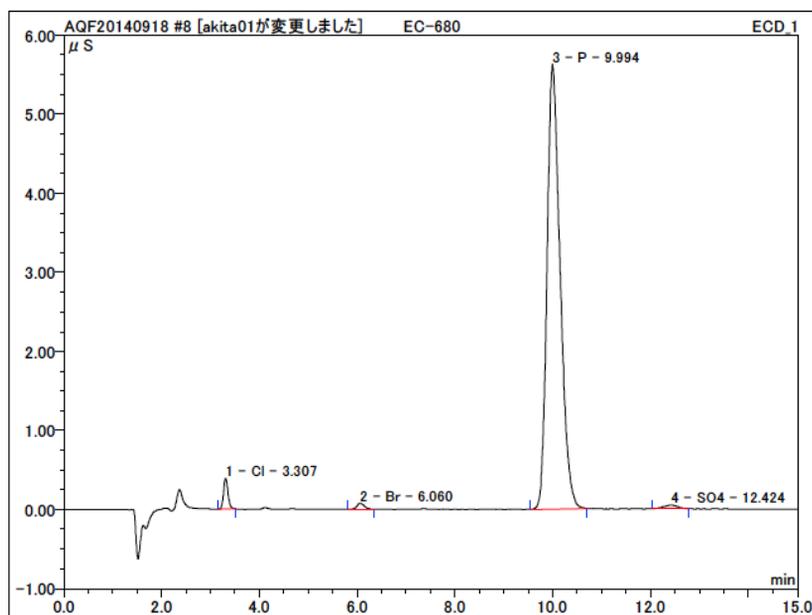
検出器
(イオンクロマトグラフ)

自動前処理装置

【応用事例】

■効果的な利活用の例

「プラスチック中の塩素・臭素・硫黄濃度測定例」



プラスチック中の塩素・臭素・硫黄濃度測定例

- ・クロマトグラフのピーク面積から濃度を算出する。
- ・リン(P)は定量のための内部標準液として使用する。
- ・硫黄はSO₄から換算する。

【設備の利用について】

詳細については当センターにご相談ください。

【お問い合わせ先】

秋田県産業技術センター

素形材プロセス開発部 環境・エネルギーグループ 遠田幸生

TEL:018-862-3414 / FAX:018-865-3949

〒010-1623 秋田県秋田市新屋町字砂奴寄4-11 / <http://www.rdc.pref.akita.jp/>